

科目名	ファッションデザイン	学年	1年	使用教材	【教科書】ファッションデザイン 文部科学省
		必修・選必・コース選			【副教材】AFT 色彩検定 3級編
		単位数	3単位		

学習目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。

学習方法

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ファッションデザインに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努める。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッションデザインの知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践する。
- 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組む

学習評価

- 次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

①関心・意欲・態度	ファッションデザインの基礎、発想と表現法などについて関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ファッションを創造的にデザインするために必要な実践的な態度を身に付けようとしている。
②思考・判断	ファッションデザインの基礎、発想と表現法などについて見直し、ファッションを創造的にデザインするために思考し、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
③技能・表現	ファッションデザインの基礎、発想と表現法や、ファッションを創造的にデザインするために必要な基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。
④知識・理解	ファッションデザインの基礎、発想と表現法や、ファッションを創造的にデザインするために必要な基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ○ 第1章 ファッションデザインの意味 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1節 デザインとは何か <ul style="list-style-type: none"> 第1 デザインの本質 第2 デザインの3分野 第3 ファッションとデザイン ○ 第3章 ファッションデザインの発想と表現 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2節 ファッションによる表現 <ul style="list-style-type: none"> 第1 材料・用具 第2 プロポーション 第3 基本体の描き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファッションデザインの造形的要素の形態、文様、材質感をファッションイメージと関わらせて具体的に理解させ、まとめ方を演習や実習を通して体験的に理解させ、ファッションのデザイン感覚を養う。 ○デザインの発想をファッション画や各種材料によって表現する手法を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書、ワークシート、実験、実習、演習等を通して、ファッションデザインの造形的要素やファッション画に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、より美しく創造的にファッションデザインができるようにする。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【進捗表】 【自己評価】【作品】
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2章 ファッションデザインの基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2節 ファッションデザインと色彩 <ul style="list-style-type: none"> 第1 色彩の基礎 第2 色の三属性とカラーシステム 第3 色の見え方と働き 第4 色とイメージ 第5 配色の基本と調和 第6 色彩とファッションイメージ 第7 流行色と基調色 ○ 第3章 ファッションデザインの発想と表現 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3節 各種素材による表現 <ul style="list-style-type: none"> 第1 トワールによる立体裁断 第2 実物布による立体裁断 第3 パターンメイキング 第4 ピンワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩の三属性と色調、配色の基礎について理解させる。また、色彩のもつイメージや色に対する感情など、色彩心理も扱う。ファッションイメージと関連させながら、感性を高めるようにする。 ○紙や布などの様々な材料を使った表現方法を理解させ、ピンワークなどのテクニックを用いてデザイン表現ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書、ワークシート、実験、実習、演習等を通して、ファッションデザインの色彩やピンワーク等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、より美しくファッションデザインができるようにする。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【進捗表】 【自己評価】【作品】
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4章 デザインの目的と発想 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1節 デザインの目的を明確にする意義 ・ 第2節 デザインの目的と問題点の発見 <ul style="list-style-type: none"> 第1 生活場面と衣服 第2 着用者と衣服 第3 生活を取り巻く環境と衣服 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の発想をデザインへ展開する過程を体験的に理解させ、アイデアやイメージをファッションデザインに展開できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファッションデザインの発想に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【進捗表】 【自己評価】【作品】